

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていますか。

2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

【学校から】本年度は、「1」および「3」を合わせた割合が前年度より増加している。一人一人を大切にしている指導や対応については、全校で児童の個性や得意分野を軸とした「たけのこカード」に取り組んだり、学習に応じて適切なタイミングで褒めたり励ましていく。2学期までは、「1」「3」を合わせた割合が前年度より増加している。今年度は、コロナ禍という状況もあり、仲間とよく話し合える機会が減少している。児童や保護者などから「思いやり」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「思いやり」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「思いやり」に関する声も聞かれています。

②豊かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

5 読解力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

6 ICT活用

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

【学校から】本年度は、「4」および「5」を合わせた割合が前年度より増加している。保護者の「4」と「5」を合わせた割合が前年度より増加している。1学期の授業、保護者も0%だったことから、コロナ禍においても継続的に取り組んでいると考えられる。「4」と「5」を合わせた割合が前年度より増加している。保護者の「4」と「5」を合わせた割合が前年度より増加している。保護者の「4」と「5」を合わせた割合が前年度より増加している。保護者の「4」と「5」を合わせた割合が前年度より増加している。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事や適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】本年度は、「7」の割合が前年度より増加している。コロナ禍の影響で、児童や保護者などから「健康づくり」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「健康づくり」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「健康づくり」に関する声も聞かれています。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。

②特別支援教育の推進

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

【学校から】本年度は、「8」の割合が前年度より増加している。「10」の割合が前年度より増加している。児童や保護者などから「特別支援教育」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「特別支援教育」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「特別支援教育」に関する声も聞かれています。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

②最適な学習環境の整備

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全で整備・管理されていると思いますか。

【学校から】本年度は、「11」の割合が前年度より増加している。「12」の割合が前年度より増加している。児童や保護者などから「安全対策」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「安全対策」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「安全対策」に関する声も聞かれています。

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携、協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携、協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

【学校から】本年度は、「13」の割合が前年度より増加している。「14」の割合が前年度より増加している。児童や保護者などから「家庭・地域との連携」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「家庭・地域との連携」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「家庭・地域との連携」に関する声も聞かれています。

④本校の教育

15 学校生活

子どもは、楽しく学校生活を過ごしていると思いますか。

16 早寝・早起き・朝ごはん

子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。

17 あいさつ

子どもは、あいさつができていますか。

【学校から】本年度は、「15」の割合が前年度より増加している。「16」の割合が前年度より増加している。「17」の割合が前年度より増加している。児童や保護者などから「学校生活」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「学校生活」に関する声も聞かれています。児童や保護者などから「学校生活」に関する声も聞かれています。

来年度の具体的な取り組みについて

○学校教育活動の様々な場面で、教職員全体で情報共有しながら児童生徒に努めていく「一人一人の尊重」については教職員と保護者、児童との意識に少し差があるので、学校での学習の様子や児童の様子等を学校より、学年・学級通信等、様々な機会を通して、児童の姿を積極的に保護者へ伝えていくようにしたい。

○児童一人一台タブレットが活用できるようになったので、それを活用しながら学習意欲を高め、学び合いを通して学力充実に努めていくが、ICTの活用と併せて「健康づくり」の学習も学校に広げて実施していく必要がある。教職員のICT活用は、新型コロナウイルス感染症対策のための休校中にオンライン授業で進んだ。12月のZoomによる学級懇話会は参加者が昨年より増加したので、ICT活用による効果を次年度検証する必要がある。

○児童と保護者、教職員も早寝・早起き・朝ごはんができていないと回答している。基本的な生活習慣の改善が必要である。今年度開催できなかった学校保健委員会（15分間や朝顔、夕やけ、夕焼け）の復活を「児童」と児童とともに取り組む、学校・家庭・地域と連携を深める必要を教職員は感じている。対面だけでなく両方向のやり取りができる機会や手段を考えたい。

学校関係者評価

○全体的に学校の評価で高い評価を受けている。児童、保護者、教職員全体で100%に近いことには驚き。特に今年度、年度初めの学校休校となった中でこの数値は、児童、保護者、教職員が学校での業務の共通意識を醸成した結果と見られる。「合い・愛通」の学校文化により、学校の思いが保護者に伝わって安心して学校生活を送ることができている方向性を感じている。

○児童に寄り添った教育活動の充実を望む。児童の心身の発達を促すことと成長を促すことと成長を促すこととは異なる。今後も、綿密な計画のもと、心に寄り添った教育活動に取り組んでいく。

○学校保健委員会委員にも参加したが、児童の意見を反映する組織や検討委員会での児童の意見は必要ではない。自分たちの身近な事情や理解について、今までおとなが担当前に決めていくことと変わらぬ。

○コロナの影響で生活リズムを整えることが難しくなったと思うが、これまでの評価を踏まえて教育活動の計画と実践がされていると思う。

○健康づくり、健康づくりを推進していく必要がある。

○児童のタブレットの使い方の（時間や内容）については、今年度実施した対応をお伝えしたい。

○児童と教職員の評価に差がある部分は評価が必要である。

○ホームページを充実させる教育活動は期待が大きい。アンケートは更に良い情報が得られる部分。学校とともに地域や社会参加に向けた学びを深めることが大切と思う。

○特別支援教育の推進、インクルーシブ教育システムの構築は人的環境も難しい。教職員の労働環境を確実と人的配慮の充実に努めたい。